

55. 当院における急性前骨髄性白血病の予後

研究の概要

急性前骨髄性白血病（APL）の治療成績はATRAの登場により飛躍的に向上しました。しかし、APLでは他の急性骨髄性白血病より出血イベントが多いことが知られており、重大な問題のひとつです。日本成人白血病研究会（JALSG）での臨床試験での出血イベントのデータはありますが、本邦における実臨床での予後や出血イベントのデータは乏しいのが現状です。当院でのAPL症例の予後と出血イベントを検討し、治療成績の改善を検討します。

研究の目的と方法

2006年から2018年12月までの間に、当院で初発のAPLと診断された患者様に対してカルテデータを用いて予後、出血イベントを後方視的に解析します。

本研究の参加について

本研究により患者様に新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございました際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、既存のカルテデータ（問診記録、身体所見、検査データ）を用いて実施する研究です。研究対象者（患者様）の個人情報（氏名、住所、電話番号）は記載せず、個人情報は特定されません。

調査期間

研究期間：当院倫理委員会承認日～2019年10月31日（調査対象期間：2006年1月～2018年12月）

研究成果の発表

研究成果については、学会、論文などでの発表を予定しています。

研究代表者

血液内科 平野太一

当院における研究責任者

血液内科 平野太一

問い合わせ先

血液内科 平野太一

TEL: 096-353-6501